

第9回(平成18年度)

七十七  
ニュービジネス  
助成金

# ライズ株式会社



代表取締役会長 CEO  
伊藤 正俊氏

## ◆企業の概要

住 所：仙台市宮城野区榴岡三丁目9番15号

設 立 年：昭和63年

業 種：ソフトウェア製作・販売

資 本 金：45百万円

従業員数：37名

## ◆事業の概要

歯科医療用の石膏模型を高性能な3Dスキャナーにより読み取り、複数のサーバーを利用して安全にデータを保管・管理する新しいシステムとして「DDS (Dental Data Service)」(データベースの特許取得済)を開発し、販売開始。今後会員制(会費制)のサービスとして歯科大学や歯科医院等にサービスの提供を展開。

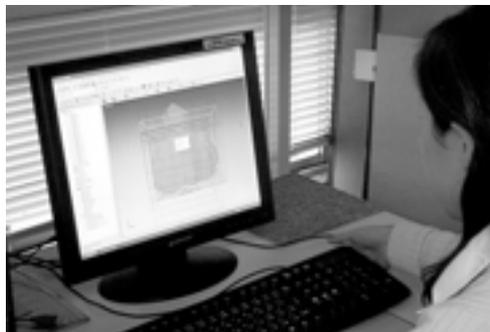


本社入居ビル

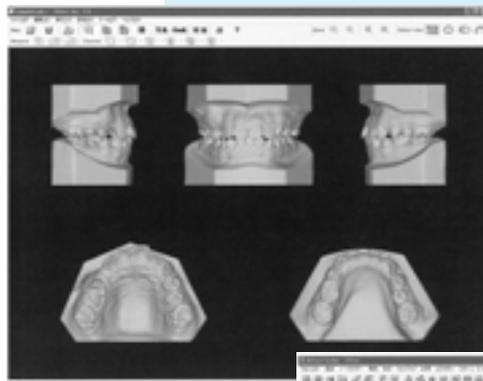


社内風景

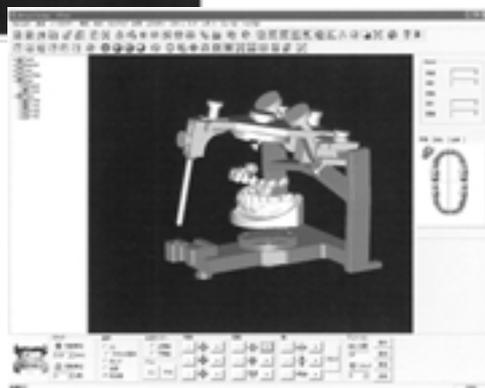
# 歯科医療用石膏模型を高精度 3D スキャナーにより解析、データとして保管・管理・利用する新しいシステムを独自開発



3Dデータ処理作業



3Dスキャナー



## ◆受賞の理由

歯科矯正治療における石膏模型（最低上下顎3セット）の管理には、膨大なスペースと保管リスクへの対応が必要。医療行為の証拠物件として訴訟リスクへの対応や、最近の矯正治療患者の増加、紛失・欠損等の際の事後処理など、資料保管には重大なリスクが生じている。

開発した「DDS」は専門会社や歯科大学などとの3年間の共同研究・実証試験に基づき、歯科医療用に最適化された高精度3Dスキャナーにより、今まで不可能だった精細な三次元データで情報を保存できる世界トップレベルのシステム。医師は患者本人の歯型模型データに基づくシュミレーションにより、正確で迅速な治療計画が可能。マウス操作だけで一本単位での歯牙移動がスムーズに行え、ポジショニングの不備に起因する複雑な修正バンドやブラケット装着などの難問を解決、治療精度向上や期間の短縮も期待できる。患者は、自分の実データに基づくシュミレーションにより、視覚的に治療の説明を受けることができ、治療の安心・信頼性を増すことが期待される（インフォームド・コンセント）。

スキャンデータ処理のコストも海外企業の活用によりローコストで実現。その結果石膏模型の保管スペースや管理に対するリスクは軽減され、大幅な経費削減等につなげることができる。また三次元スキャンした石膏模型のデータ情報は、複数のサーバーで安全に保管・管理される。データは必要に応じて常時インターネットを通じて専用サーバーから配信を受けることが可能であり、その新規性や独創性は高く評価できる。

当社は学術用、ビジネス用に多数の開発商品を持つが、歯科矯正計測ソフト「WinCeph」は全国（国内トップシェア）やアジア地域で販売しているため、その販売チャネルを活用する。医療画像データベース「ScopeReader」は全国900施設以上に販売実績がある。今後もグローバルの医療分野で新しいソフト開発やビジネスモデルを提供し続けていくことが大いに期待される企業である。